

国民の審判で「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年4月26日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

安全で、ゆきとどいた 医療・介護を！

勤医労 夜勤改善・大幅増員求めチカホ宣伝

過去最高の**1664**筆

4月25日、勤医労は、チカホ（札幌地下歩行空間）で、安全でゆきとどいた医療・介護めざして、看護職員・介護職の夜勤改善と大幅増員を求めて、ロングラン宣伝署名行動を行い、1日で1664筆の署名が集まりました。

10時から16時の行動には24名が参加し、勤医労が行ったロングラン宣伝では過去最高の署名が集まり、医療や介護の拡充を求める切実な願いが寄せられました。



夜勤明けの職員、元職員、職員の親や祖父母、患者・利用者が次々署名 差し入れも

「わかる！」と現職の職員や元職員も署名します。夜勤明けの介護職員も「他人事ではない。今のままでは展望がない」。「本当にきつい仕事でした。今は医療や介護を受けていますが、本当に忙しいそうで、職員がたりないよね」と話す元職員。中には「介護職員をめざして、資格を取り、事業所の面接を受けたが、給料が安すぎて就職をあきらめ、別の業種で事務職員をしています。給料もあげてほしいです」と話す男性も。

一方、娘や息子、孫が職員をしている方、現在、医療や介護を利用している人も署名しました。「とても医療や介護が不安です。若い人たちは仕事が大変で医療や介護の仕事につけない、働く人がいなければどうなるのでしょうか」という方も。中には、署名した後、差し入れを買って戻ってきて「励まされました。頑張ってください」と話す他業種の労働組合員もいました。多くの方と手を結び、社会保障を拡充させましょう。

国民会議パブコメ 各地で始まる 応募を広げましょう！

社会保障制度の改悪内容を検討している「社会保障制度改革国民会議」が、基本的な考え方と医療、介護、年金、子育てのついでのパブリックコメントを意見募集（～5月15日）しています。

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/iken.html>

各地団体でも、応募する取り組みが始まっています。福祉保育労では、諸会議などでも、子育てや介護などを中心に、応募することが話し合われ、道北勤医協でも、医療や介護などの参考意見なども示して、応募を呼びかけています。

改悪されてきた社会保障による実態、給付減・負担増ではなく国の責任による社会保障の拡充こそ必要など、と国民の声を届けましょう。

「軽度」切り捨て、利用料アップ
介護保険法改悪 社保審部会でも検討

25日、社会保障審議会介護保険部会で、「要支援1,2は保険対象除外」「利用料値上げ」など介護保険法の改悪が検討されました。山崎部長は社会保障制度改革推進法（国民会議）から「自由になれない」と給付減と負担増が前提と発言。これらに対して異論もだされました。

4月27日・昼は介護宣伝です。紀伊国屋書店札幌本店付近

介護の笑顔を！道連絡会では、介護制度の改善を求める宣伝署名行動を行っています。
今月は27日（土）12：00から、紀伊国屋書店札幌本店付近で行います。

いよいよ 明日（4月27日） ナショナル・ミニマム学習会

14時～16時 佐藤水産文化ホール（JR札幌駅南口）



講演 『人間らしい生活を求めて』

講師 金澤 誠一 氏（佛教大学社会学部教授）